

4. 稲毛田 3-3 の遺跡

稲毛田 3-3 は芳賀町の東側喜連川丘陵に位置し、東側で市貝町に接する。地形的には南流する大川の形成する低地と丘陵で構成される。

本地区には御倉前遺跡・郷境の塚古墳の周知の遺跡が存在している。今回新たに、上高田西Ⅱ遺跡・上高田西Ⅲ遺跡・上高田西Ⅰ遺跡・如来寺Ⅰ遺跡・瀧ノ前遺跡・瀧ノ前南遺跡・如来寺Ⅱ遺跡・如来寺Ⅲ遺跡・上高田遺跡・山ノ入遺跡の 10 遺跡を確認することができた。次に主要な遺跡を紹介したい。

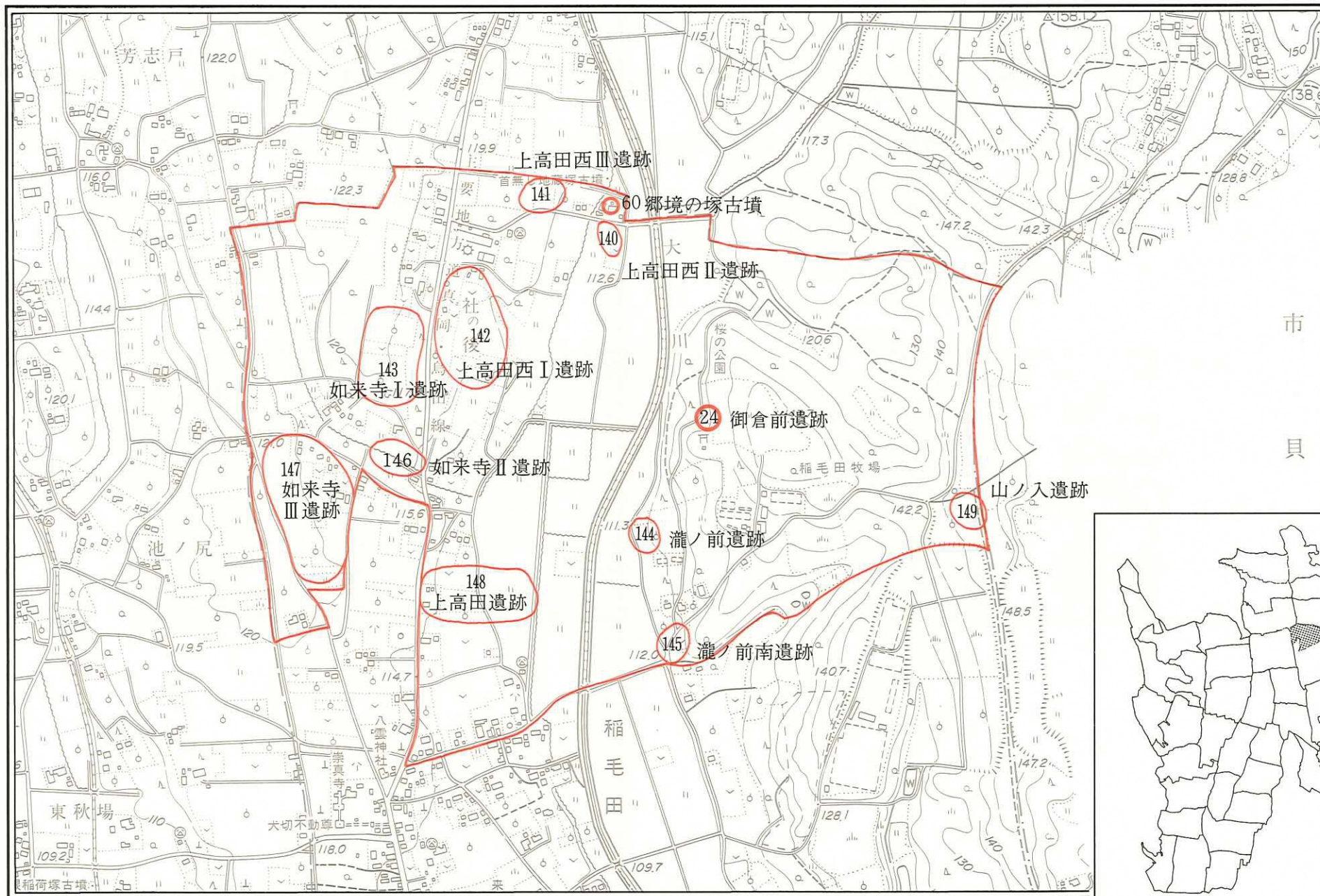
御倉前遺跡は小貝川の支流大川の左岸低台地上に立地する、古墳時代後期の大集落跡である。これまでに、土師器（甕・壺・鉢・碗・坏・高坏）などが出土している（塙 1983）。

郷境の塚古墳は 直径 9 m、高さ 1.5m ほどの円墳で、明治中頃に調査され、刀剣類・管玉・土師器などが出土したという（小森 1993）。

今回新たに発見された 10 遺跡のほとんどが古墳時代に属し、遺物の散布は少ないが、土師器片を採集できた。また、若干ではあるが、縄文時代の遺物も採集している。如来寺Ⅰ遺跡はその名の示すとおり、寺院跡が存在したことが聞き取り調査によって判明している。瀧ノ前南遺跡には遺跡南東部に塚状の高まりがあり、塚の上に仏石塔婆があり、供養塚の可能性もある。

（塩谷慎介）

芳賀町遺跡番号	遺跡名	所在地	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世以降	種類	立地	現状
24	御倉前遺跡	稲毛田字上新田				○	○			集落跡	丘陵	牧草地
60	郷境の塚古墳	稲毛田字社後1171				○				古墳	平地	宅地
140	上高田西Ⅱ遺跡	稲毛田字上高田西1177他				○				散布地	台地	畑
141	上高田西Ⅲ遺跡	稲毛田字上高田西1171-4他		○		○				散布地	低（湿）地	畑
142	上高田西Ⅰ遺跡	稲毛田字上高田西1140他				○				集落跡	台地	畑
143	如来寺Ⅰ遺跡	稲毛田字如来寺1209-1・2				○				集落跡	台地	畑
144	瀧ノ前遺跡	稲毛田字瀧ノ前2243他				○				散布地	台地	田
145	瀧ノ前南遺跡	稲毛田字瀧ノ前2223他				○			○	散布地	台地	畑
146	如来寺Ⅱ遺跡	稲毛田字如来寺1242-2、1238-4他				○				散布地	台地	畑
147	如来寺Ⅲ遺跡	稲毛田字								—	台地	畑
148	上高田遺跡	稲毛田字上高田198-1他				○				散布地	低・台地	田・畑
149	山ノ入遺跡	稲毛田字山ノ入2273他		○		○				集落跡	丘陵	梨畑



稲毛田3-3の遺跡分布図

5. 稲毛田 3-2 の遺跡

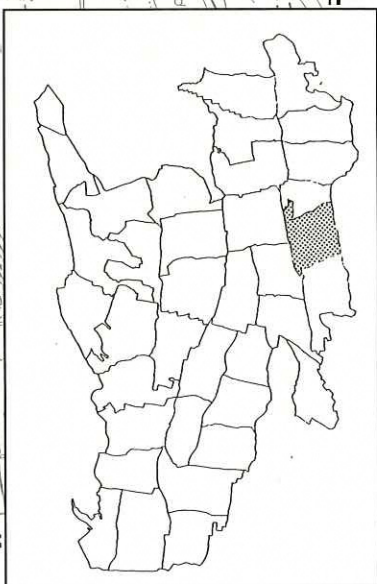
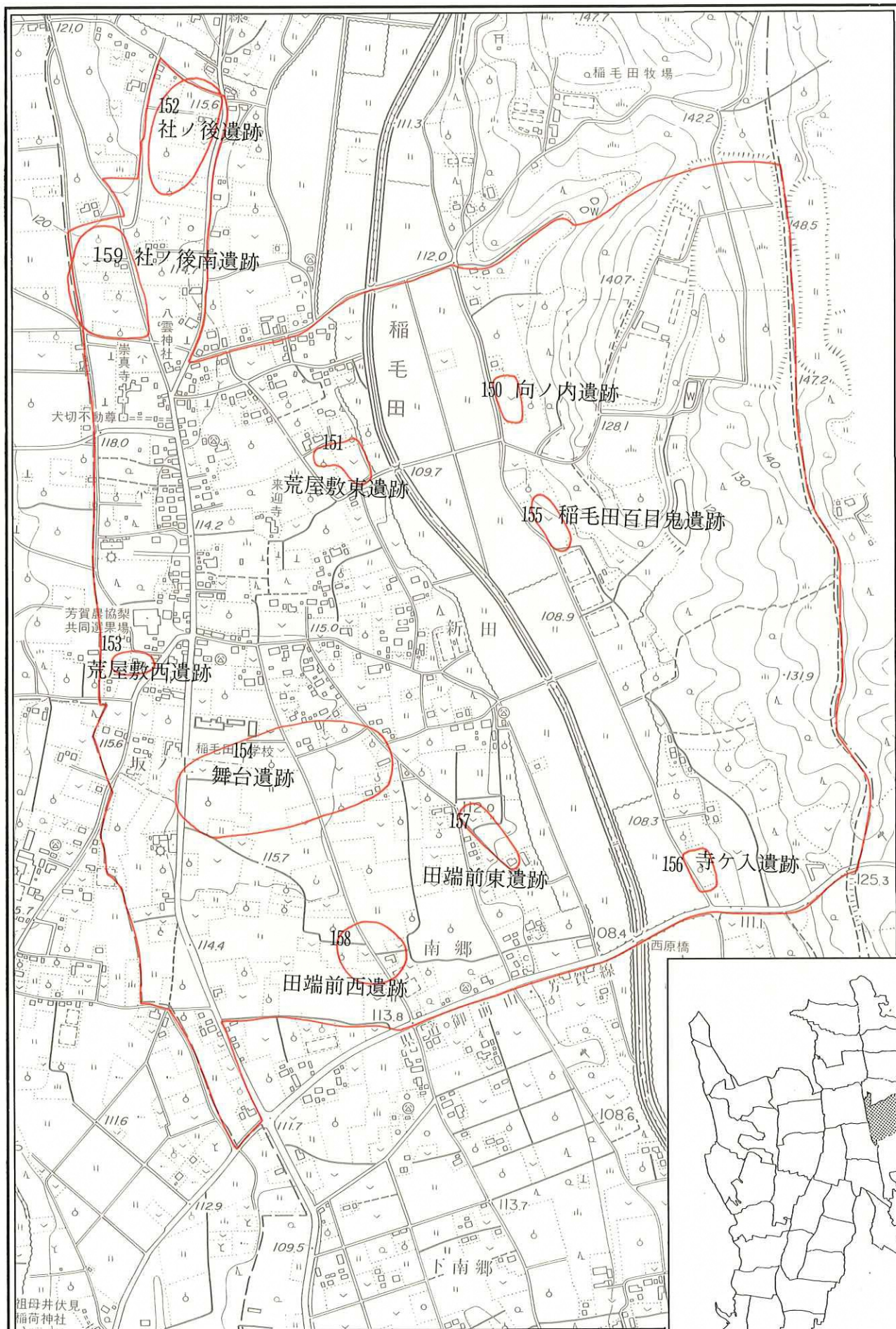
稲毛田 3-2 は、芳賀町東部に位置し、中央を小貝川の支流大川が南流している。稲毛田台地と呼ばれる台地を中心に遺跡は発見されている。台地上は果樹を中心とした畑作地帯でもある。

本地域では、新しく向ノ内遺跡・荒屋敷東遺跡・社ノ後遺跡・荒屋敷西遺跡・舞台遺跡・稲毛田百目鬼遺跡・寺ヶ入遺跡・田端前遺跡・田端前西遺跡・社ノ後南遺跡の 10 遺跡を確認することができた。次に詳細を述べてみたい。

遺跡の多くは大川の左岸と右岸の台地および微高地上に位置している。古墳から奈良・平安時代に属する小規模な遺跡が多く、少量の土師器片を採集した。また、荒屋敷遺跡・社ノ後遺跡・舞台遺跡・寺ヶ入遺跡・田端前西遺跡・社ノ後南遺跡では土師器片とともに、中・近世の陶器片が確認された。さらに荒屋敷西遺跡・社ノ後南遺跡では須恵器片も確認された。特に、田端前遺跡では、縄文土器片・土師器片・内耳土器片が採集でき、縄文・奈良・平安および鎌倉時代の遺跡であることがわかった。

(大島美智子)

芳賀町遺跡番号	遺跡名	所在地	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世以降	種類	立地	現状
150	向ノ内遺跡	稲毛田字向ノ内138-1~141				○	○			散布地	段丘	畑
151	荒屋敷東遺跡	稲毛田字荒屋敷998~1010					○			散布地	微高地	畑
152	社ノ後遺跡	稲毛田字社ノ後1280~1365					○	○	○	集落跡	台地	畑
153	荒屋敷西遺跡	稲毛田字荒屋敷1492~1494					○			散布地	台地	畑
154	舞台遺跡	稲毛田字舞台833~1540				○	○		○	集落跡	台地	畑・宅地
155	稲毛田百目鬼遺跡	稲毛田百目鬼104-2~105-3				○	○			散布地	段丘	畑
156	寺ヶ入遺跡	稲毛田字寺ヶ入25-4~25-8				○	○	○		散布地	段丘	畑
157	田端前東遺跡	稲毛田字田端前784~786		○			○	○		散布地	微高地	畑
158	田端前西遺跡	稲毛田字田端前755~1610					○	○	○	散布地	台地	畑
159	社ノ後南遺跡	稲毛田字社ノ後1382~1391					○	○	○	散布地	台地	畑



稲毛田3-2の遺跡分布図

6. 稲毛田 3-1 の遺跡

稲毛田 3-1 は芳賀町域の東部にあたる。小貝川の支流、大川右岸の稲毛田台地と喜連川丘陵に位置する。本地域の東側は市貝町に接する。大川流域は水田として利用されているが、台地部は果樹園が多く見られる。

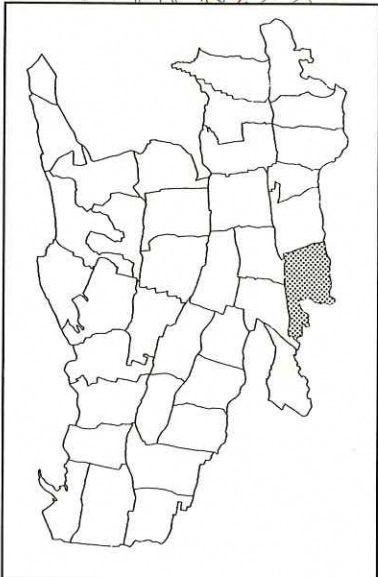
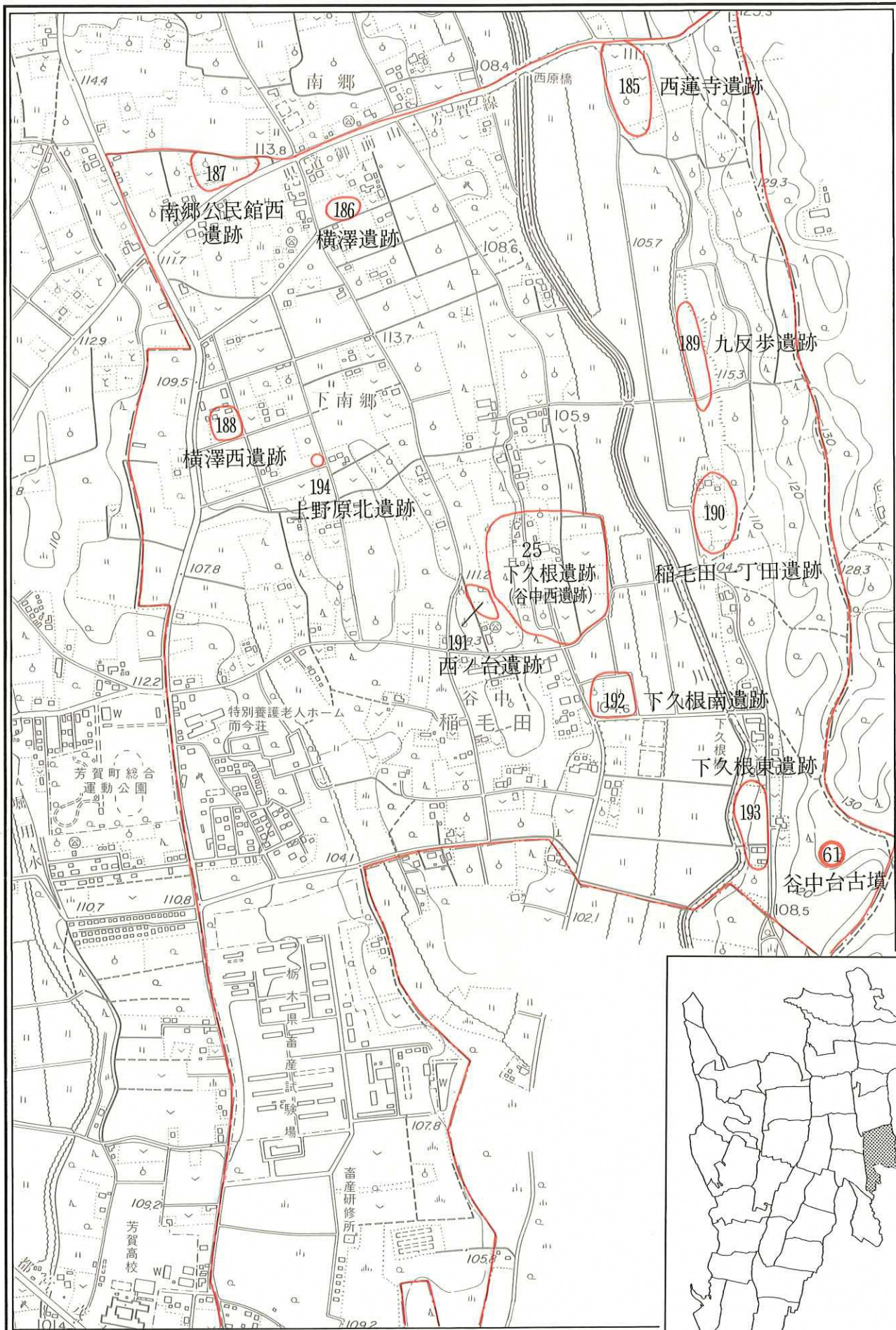
本地区には、下久根遺跡（谷中西遺跡）・谷中台古墳が周知の遺跡として存在し、今回新たに、西蓮寺遺跡・横澤遺跡・南郷公民館西遺跡・横澤西遺跡・九反歩遺跡・稲毛田一丁田遺跡・西ノ台遺跡・下久根南遺跡・下久根東遺跡・上野原北遺跡の 10 遺跡を確認することができた。本地域の遺跡は、古墳時代から奈良・平安時代に属するものが多いが、縄文時代、弥生時代、及び中世や近世以降の遺跡も、それぞれ少数だが確認されている。

横澤西遺跡は、大川右岸の微高地に立地しており、縄文時代中期に属するものと考えられる土器片が、比較的多く採集されており、集落跡と考えられる。稲毛田一丁田遺跡は、大川左岸の微高地上に立地しており、わずか 1 片のみだが、弥生土器片が採集されている。また、少量ながら古式土師器片もみられる。

本地域において、唯一確認された古墳である谷中台古墳は、丘陵が段丘面に接する小平坦面に、南面して築造された全長 35m の前方後円墳である（埴 1972）。

下久根南遺跡は奈良・平安時代に属するものと考えられる土師器片が比較的多く採集され、集落跡の可能性もある。また本遺跡では灯明皿などの近世陶器も採集されている。下久根遺跡（谷中西遺跡）・九反歩遺跡・西ノ台遺跡・下久根東遺跡では内耳土器など、中世土器の散布が認められる。（平久保直希）

芳賀町遺跡番号	遺跡名	所在地	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世以降	種類	立地	現状
25	下久根遺跡 （谷中西遺跡）					○	○	○		散布地	微高地	畑
61	谷中台古墳	稲毛田字谷中台				○				古墳	山頂	宅地
185	西蓮寺遺跡	稲毛田字西蓮寺391周辺				○	○		○	散布地	微高地	畑
186	横澤遺跡	稲毛田字横澤2516					○			散布地	台地	田・畑
187	南郷公民館西遺跡	稲毛田字1665、1666					○		○	散布地	台地	畑
188	横澤西遺跡	稲毛田字横澤2483		○						集落跡	微高地	牧草地
189	九反歩遺跡	稲毛田字九反歩433～2063				○	○	○		集落跡	微高地	畑
190	稲毛田一丁田遺跡	稲毛田字一丁田474～481			○	○	○			散布地	微高地	畑
191	西ノ台遺跡	稲毛田字西ノ台1789-4		○			○	○		散布地	台地	畑
192	下久根南遺跡	稲毛田字下久根517					○		○	散布地	微高地	
193	下久根東遺跡	稲毛田字下久根2011～2018				○	○	○		散布地	微高地	畑
194	上野原北遺跡											



稲毛田3-1の遺跡分布図

11. 祖母井 3-3 の遺跡

祖母井 3-3 は芳賀町域の東央部、五行川左岸に位置し、西部の五行川低地東部の祖母井台地から成る。地名は五行川沿岸の氾濫によって、侵食・崩壊した地に由来するものと言われている（塙 1989）。五行川低地、祖母井台地は古くから水田として利用されている。圃場整備による影響も多少受けている。

本地域には、境ノ内遺跡・伏見稲荷塚古墳が周知の遺跡として存在している。今回新たに坂ノ上北遺跡・坂ノ上南遺跡・毘沙門堂東遺跡・毘沙門堂西遺跡・千本海道上遺跡・宮畑遺跡・八斗蒔遺跡・中道北遺跡・登戸遺跡・中道南遺跡の 10 遺跡を確認することができた。

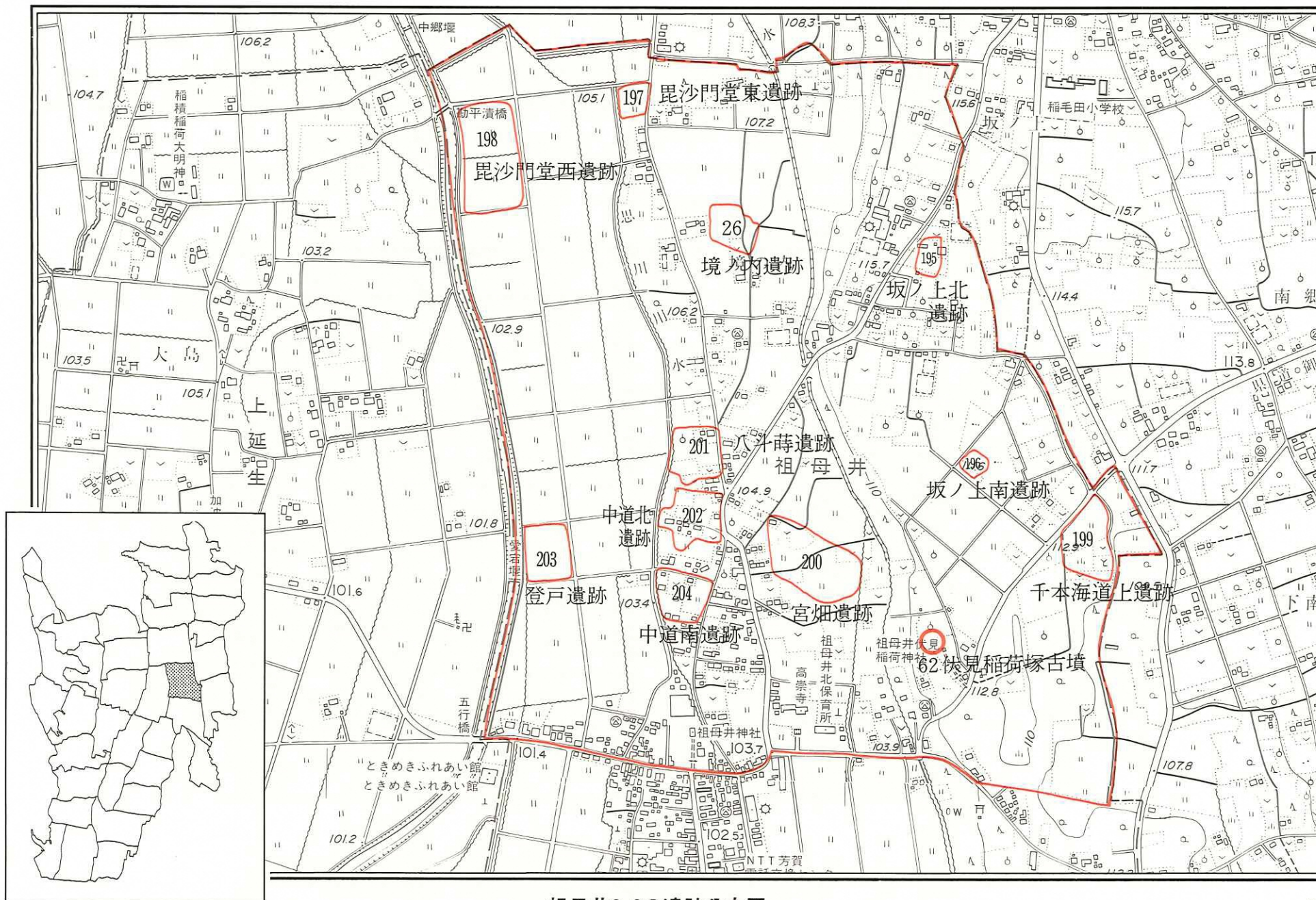
境ノ内遺跡は、五行川左岸、低位の祖母井台地上に位置する。明確な時代区分は確認されていないが、土師器が出土している。

伏見稲荷塚古墳は、祖母井台地上に立地する円墳である。発掘調査等を行われていないため詳細は不明である。現状は境内になっている（栃教委 1985）。

今回の調査では、千本海道上遺跡・八斗蒔遺跡・登戸遺跡の 3 遺跡で弥生土器片が採集された。登戸遺跡は五行川低地に位置し、八斗蒔遺跡は、祖母井台地縁辺部に、千本海道上遺跡は台地上に位置する。南北に連なる五行川台地上には北に弥生時代後期の東秋場遺跡が存在する。いずれも離れた場所に立地しており、連続する遺跡とは考えにくい、五行川沿岸の低位な台地縁辺部を利用して弥生時代の集落が営まれていたことで注目される。

（大沼正代）

芳賀町遺跡番号	遺跡名	所在地	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世以降	種類	立地	現状
26	境ノ内遺跡	祖母井字境ノ内1335、1490				○	○			散布地	台地	畑
62	伏見稲荷塚古墳	祖母井				○				古墳	台地	境内
195	坂ノ上北遺跡	祖母井字坂ノ上1521					○			散布地	台地	畑
196	坂ノ上南遺跡	祖母井字坂ノ上2469					○			散布地	台地	畑
197	毘沙門堂東遺跡	祖母井字毘沙門堂615				○	○			散布地	低（湿）地	田
198	毘沙門堂西遺跡	祖母井字毘沙門堂599他					○			散布地	低（湿）地	田
199	千本海道上遺跡	祖母井字千本海道上2508～2510			○		○			散布地	台地	畑
200	宮畑遺跡	祖母井字宮畑910、1260他					○			散布地	台地	畑
201	八斗蒔遺跡	祖母井字八斗蒔1170			○		○			散布地	台地	畑・宅地
202	中道北遺跡	祖母井字中道956					○			散布地	微高地	畑
203	登戸遺跡	祖母井字登戸698～700		○	○					散布地	低（湿）地	田
204	中道南遺跡	祖母井字中道971					○			散布地	低（湿）地	田



祖母井3-3の遺跡分布図

12. 祖母井 3-2 の遺跡

祖母井 3-2 は芳賀町の中央東よりに位置し、祖母井台地に位置している。本地区には周知の遺跡として弁天池遺跡・弁天池南遺跡・赤坂道上遺跡・道上経塚・祖母井城跡・大田原陣屋跡があり、今回新たに発見された遺跡として赤坂道上北遺跡・赤坂道上東遺跡・赤坂道上南遺跡・杉並遺跡・城ノ内遺跡・小竹道下遺跡・勝善之内遺跡・薬師前北遺跡・薬師前東遺跡・薬師前南遺跡・代町遺跡・クシ内北遺跡・クシ内南遺跡の 13 遺跡を確認した。

弁天池遺跡・弁天池南遺跡・赤坂道上遺跡は祖母井台地の同一面に立地する縄文時代中期から後期の遺跡である（宇都宮大学歴史研究会考古学グループ 1970・宇都宮大学考古学研究会 1976）。また赤坂道上遺跡では弥生時代中期の土器も発見されている（塙 1963・1983）。

道上経塚は天文 14（1545）年の年号が刻まれている銅製経筒が発見されている。（佐藤 1927）。

（塩谷慎介）

芳賀町遺跡番号	遺跡名	所在地	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世以降	種類	立地	現状
1	弁天池遺跡	祖母井字弁天池		○						集落跡	丘陵	畑・宅地・山林
2	弁天池南遺跡 （祖母井中学校南遺跡）			○						集落跡	台地	畑
3	赤坂道上遺跡	祖母井字赤坂道上1666		○	○	○	○			散布地	台地	畑
65	道上経塚	祖母井字赤坂道上1672								経塚	台地	畑
205	赤坂道上北遺跡	祖母井字赤坂道上1658～1664		○						散布地	台地	田
206	赤坂道上東遺跡	祖母井字赤坂道上1676		○						散布地	台地	畑
207	赤坂道上南遺跡	祖母井字赤坂道上1699、1700他					○			散布地	台地	田
208	杉並遺跡	祖母井字杉並838					○			散布地	低（湿）地	田
209	祖母井城跡	祖母井字古屋敷584、585						○		城館跡	微高地	畑
210	城ノ内遺跡	祖母井字城ノ内1039～1045							○	散布地	低（湿）地	田
211	小竹道下遺跡	祖母井字小竹道下287他				○	○	○		散布地	微高地	宅地・墓地
212	勝善之内遺跡	祖母井字勝膳之内312			○					散布地	微高地	畑
213	大田原陣屋跡	祖母井字							○	陣屋跡		
214	薬師前北遺跡	祖母井字薬師前1089				○	○	○		散布地	低（湿）地	田
215	薬師前東遺跡	祖母井字薬師前1102					○		○	散布地	低（湿）地	田
216	薬師前南遺跡	祖母井字薬師前1129						○	○	散布地	低（湿）地	田
217	代町遺跡	祖母井字代町164					○			散布地	台地	宅地
218	クシ内北遺跡	祖母井字クシ内206～232		○			○			散布地	微高地	畑・宅地
219	クシ内南遺跡	祖母井字クシ内250					○			散布地	微高地	畑

13. 祖母井 3-1 の遺跡

祖母井 3-1 は、五行川左岸に位置し、同河川の氾濫によって形成された沖積地と祖母井台地上に立地する。東・南・西は市貝町と接している。本地域の西側は水田として利用され、東側は畑地となっている。

本地域の周知の遺跡として、二子塚古墳・二子塚西古墳があげられる。今回の調査で新しく確認されたのは、赤坂道下遺跡・二子塚古墳北遺跡・上野原遺跡・上野原東A遺跡・上野原東B遺跡・上野原東C遺跡の6遺跡である。

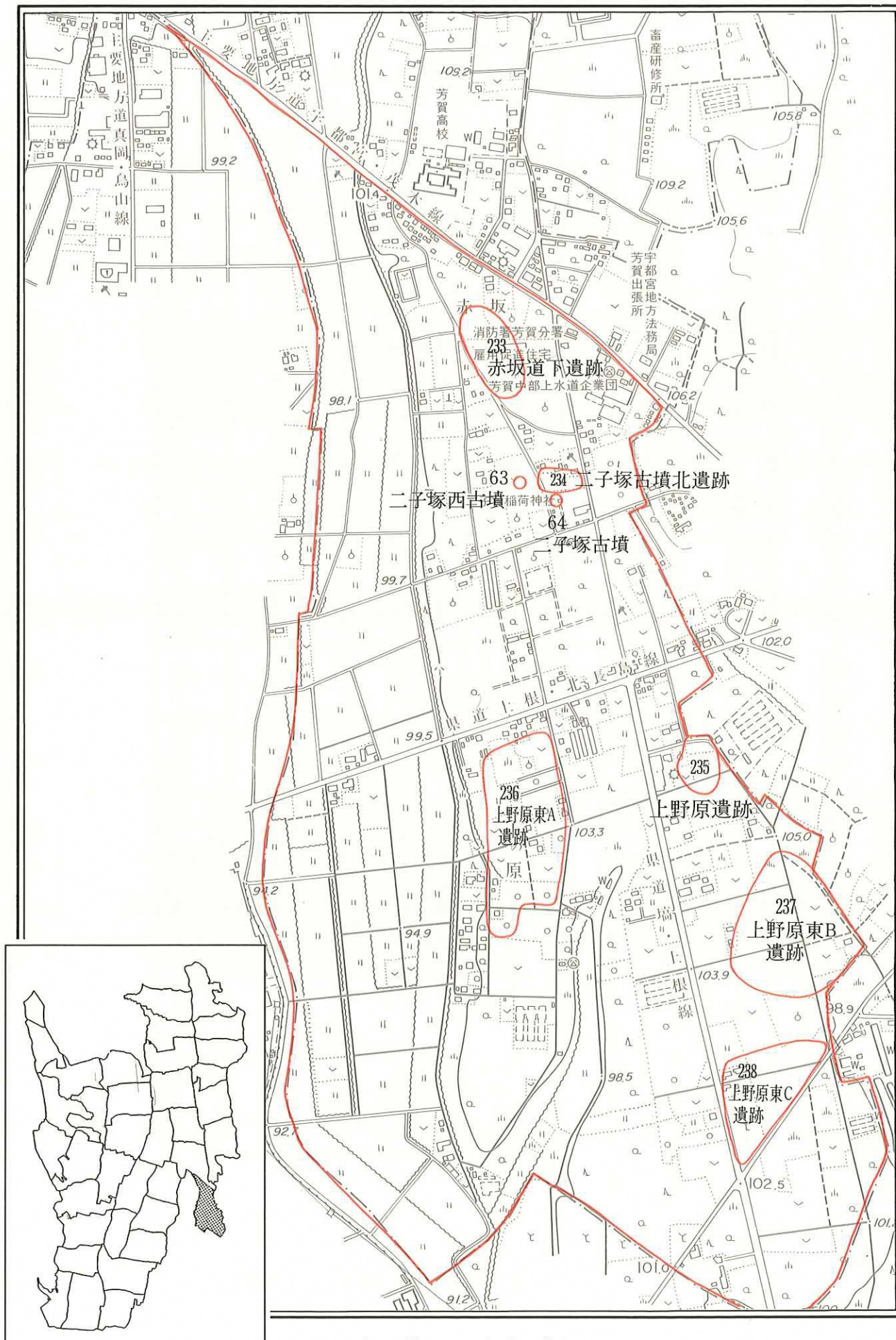
二子塚古墳は、祖母井台地の中央に位置する前方後円墳で、二子塚西古墳のすぐ東側にある。古くは付近に古墳が数基点在し、二子塚古墳群を形成していたと思われる。当墳はその主墳にあたり、全長約 34m、後円部高は 2mの小規模なもので、南面して築造されている。墳頂には現在稲荷神社が奉祀されていて、かなりの削平をうけている。本墳は江戸時代末期に発掘されているが、出土品については不明である。築造時期は古墳時代後期にあたる（塙 1983）。

二子塚西古墳は、昭和 55 年芳賀町教育委員会が主体となって発掘調査した古墳である。二子塚古墳の西側畑地にあるため二子塚西古墳と呼ばれる。直径 15m、推定墳高 2mの円墳で、周庭帯がめぐり、周溝は外径で 22.5mと推定できる。埋葬施設は凝灰岩の切石による半地下式の横穴式石室で墳丘の南西斜面に造られている。玄室内から直刀・耳環・勾玉・ガラス製小玉・土製丸玉・石製小玉などが出土し、前庭部の溝から銅釦・土師器片・須恵器が出土している。出土品から 7 世紀前半の築造と考えられる（屋代 1980）。

赤坂道下遺跡では縄文土器片と土師器片、二子塚古墳北遺跡・上野原遺跡では土師器片、上野原東A遺跡では中世の内耳土器片、上野原東B遺跡・上野原東C遺跡では土師器片と須恵器片がそれぞれ採集できた。

（大島美智子）

芳賀町遺跡番号	遺跡名	所在地	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世以降	種類	立地	現状
63	二子塚西古墳	祖母井字上の原				○				古墳	台地	畑
64	二子塚古墳	祖母井字上の原				○				古墳	台地	畑
233	赤坂道下遺跡	祖母井字赤坂道下1706、1708		○			○			散布地	台地	
234	二子塚古墳北遺跡	祖母井字上野原2281他					○			散布地	台地	畑
235	上野原遺跡	祖母井字上野原2187、2256他					○			散布地	台地	畑
236	上野原東A遺跡	祖母井字上野原2321他						○		散布地	台地	畑
237	上野原東B遺跡	祖母井字上野原1725、2331-2他					○			散布地	台地	畑
238	上野原東C遺跡	祖母井字上野原2388、2369					○			散布地	台地	畑



祖母井3-1の遺跡分布図